

大地震時に実施する被災建築物応急危険度判定調査及び被災宅地危険度判定調査時に、他都市から来た応援判定士の「移動手段」や「宿泊施設」の優先的な確保の課題検討のため
公民連携の提案・アイデア等を募集します！

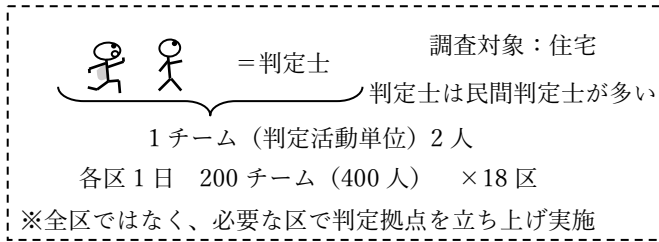
提案希望① バス・タクシー・レンタカー・レンタサイクルなどの交通手段供給等の提案

提案希望② 宿泊施設・研修施設の提供等に関する提案

判定活動の目的：大地震発生直後に被災建築物や被災宅地の被害状況調査することで、余震等による建築物の倒壊及び宅地の崩壊、外壁・窓ガラスの落下等から生じる二次災害を防止し、市民の安全を図る。

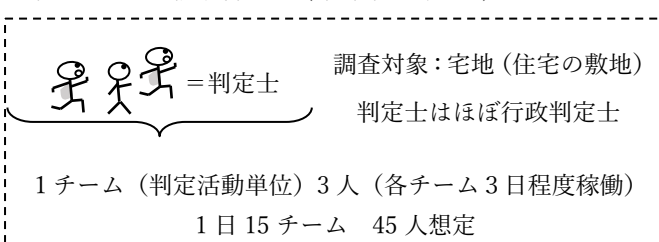
活動期間：基本的には10日間程度

○被災建築物応急危険度判定調査（区単位で実施）



- 流れ：宿泊場所⇒判定拠点（区役所）⇔（市内・市外を移動（朝夕））
- 判定拠点（区役所）⇔判定場所（区内移動、比較的近い移動も有（朝夕））
- 判定実施本部⇒宿泊場所
- 宿泊対象：判定士のうち市外等遠方在住を対象

○被災宅地危険度判定（市単位で実施）



- 流れ：宿泊場所⇒判定本部（市庁舎）⇔（市内・市外を移動（朝夕））
- 判定本部（市庁舎）⇔判定場所（市内移動、調査エリアは基本一日1エリア（朝夕））
- 判定本部（市庁舎）⇒宿泊場所
- 宿泊対象：ほぼ他都市の行政判定士のため全員対象

※被災状況によって状況は変わります。全てをカバーする提案ではなく一部での提案もお待ちしています。

